会議録

会議の名称	第5回加西市元気なまちづくり市民会議
開催日時	令和元年11月20日(水)午後2時00分～4時10分
開催場所	加西市役所 1階多目的ホール
議長の名	(会長 杉山 武志)
出席及び欠席委員の名	<p><出席委員></p> <p>・石 芳博 ・上田尾 真 ・織部 明政 ・久米澤 稔 ・杉本 建人 ・杉山 武志</p> <p>・谷勝 公代 ・仁科 崇良 ・松岡 勝己 ・宮本 真見子</p> <p><欠席委員></p> <p>・高見 千里 ・辻田 聡信</p>
傍聴者の人数	一般：なし 報道機関：なし
出席した事務局職員の名及びその職名	<p>・ふるさと創造部長 千石 剛</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課長 藤後 靖</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課係長 後藤 伸嘉</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課主任 岩野 裕之</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課主事 大西 弘晃</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員 小山 映</p>
1 議事	第6次加西市総合計画・次期加西市地域創生戦略の策定状況について
2 会議資料	<p>(1) 次期総合計画・地域創生戦略策定における市民等に対する意見募集の取組状況について</p> <p>(2) 次期総合計画及び地域創生戦略策定に係るアンケート調査の結果報告(速報版)</p> <p>(3) SDGsについて</p> <p>(4) 第6次加西市総合計画 基本構想(構成案)</p> <p>(5) 人口動向分析及び将来人口の推計</p> <p>(6) 次期加西市地域創生戦略の基本方向(骨子素案)</p> <p>(7) 参考資料</p>
3 会議の経過	⇒別紙「第5回加西市元気なまちづくり市民会議の経過」のとおり

(別紙) 第5回加西市元気なまちづくり市民会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
会長	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋も深まってきたが、早くもクリスマスソングが流れてくる時期となった。例年と違い今年度は、あと2回の会議が予定されており、引き続きいろいろな意見を出していただきたい。 ・総合計画・地域創生戦略の立案を実り多いものとしていきたいので、皆様のご協力をお願いする。
	<p>3 委員等出席者の紹介</p>
副会長	<p>4 議事</p> <p>(1) 市民等に対する意見募集の取組状況とアンケート調査の結果報告(速報)</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート結果では、重要度が高く満足度が低いものが課題だと考えられるが、病院・医療関係は重点的に予算が配分されていくのではないかと。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・必ずしも重要度と予算はリンクするものではないが、総合計画上、重要度が高く満足度が低いものは、注力していかないといけない課題と認識している。基本計画の中で具体の施策として強く記していくことを考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は病院への追加補助なしだったが、予算をかけている市民の重要度の高いところは、お金を多く投じてよいだろう。重要度と満足度のクロス図の○印のところに予算を多く使っている表示があるとわかりやすいので、検討すべきである。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な指摘だと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ的な視点を加味した表現にできないか、少し検討したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり例がないと思うので、一目でわかるようになると新鮮だと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・金額の絶対額での表示は難しいので、同規模団体よりも相対的に多く予算をかけているなどの目で考えてみたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートで、わからないという回答が多いのが気になる。かなりの割合になっているので考えないといけない。二者択一といった大きな流れはつかみにくいので、考慮を要する。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的には、わからないという項目は設けざるを得ないと思われる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートだけではなく、それ以外に補完するものとしてワークショップなど別な方法での意見の把握に努めている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・実際、わからないというものはあるので、アンケートとしてはいいのではないかと。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・若者・女性の雇用・就業の確保と地域に根ざした仕事の確保など似たようなもので評価が分かれている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の項目を見ていくと、似たもので評価がバラけているところが見受けられる。医療、健康、福祉などでいくつかの項目をグルーピングしてみるとよいのではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでは施策を細分化した項目で聞いているので、項目をまとめて平均値を出す等の加工は可能だと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ざっくりした括りでの、アンケート回答の整理をお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回会議に提出するようにする。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想については、大きなまとまりで考えるとよい。個別具体の施策検討は各設問の個別項目の回答が参考になるとと思われる。
委員	<p>(2) SDGsと第6次加西市総合計画の基本構想(構成案)</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・具体性のあるものなのか、構想レベルのものなのか、総合計画の位置づけがよくわからない。計画に基づき予算化→事業として肉付け→実行という流れが企業では一般的だが、お金と結びつかないと計画は意味がないと考える。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画は基本的には経費とつながっており、構成の流れとしては構想を具体化する5年の前期・後期基本計画の中で施策をまとめ、毎年見直す3か年の実施計画として予算とリンクした行財政改革プランにより事業を実施する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・お金がないと絵にかいたモチになりかねない。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業予算は実施計画に盛り込まれていないとやらないのが原則だが、突発的なものが加えられる場合もある。 ・総合計画の構想の位置づけは、大きな方向性を示すものと理解した。 ・前回の総合計画の策定時のことだが一通りの議論が終わった後、また会議が持たれることになったと記憶する。 ・アンケートの回収率は、30%台だがこれで意味があるのか疑問に思われ、もっと回収率を高める工夫をすべきである。 ・前回の策定作業は年度末に完成していたが、選挙があつて市長が変わったこともあつて結果的には遅れてその年の秋になってからの発表となった。最終的に一部が異なることとなり小学校は11校存続という方向になった経緯がある。また、中間で見直して、後期計画は地域創生戦略と整合を図った内容となっている。 ・前回市民アンケートは、2,500件発送して1,100件程度の回収だったので、今回、総数では前回の回答数を上回っている。隠れている意見等は、ワークショップ等で引き出していききたいと考えている。 ・審議会といった場だけでなく、アンケート、ワークショップなどで意見を集約していくことが大切だと思う。 ・近隣市の総合計画策定にも関わっているが、37%という回収率は決して低くない。50~60%あるとよいが達成は難しいので、概ね妥当な回収率と考える。 ・アンケート調査は、民間ではアウトソーシングしているケースが多い。 ・今回のアンケート調査は、プロポーザルによる専門会社への委託と聞いている。 ・SDGsの項目以外の総合計画の施策もあるように思われる。 ・17のSDGsの目標に市の施策は分類可能であり、網羅されるとみている。計画で取り組まないといけないものは、すべて17の目標に織り込んでいく予定である。 ・全体イメージの資料には、仮で『ミライつなげる〜』等の案が示されているが、現総合計画にある『ミライナカ』などの考えを継承していくことも考えてもよいのではないか。 ・現計画では、将来像(めざす姿)に加え都市像として『ミライナカ』を提示しており、例えば都市像の方は継続することも含めて今後議論を重ねていきたい。 ・アンケートについて、例えば「将来の居住意向について」で、50~60歳での「どちらともいえない」という回答が多いが理由等は分析できないものか。 ・住み続けたいという理由について、さらに分析を加えていきたい。自由記述には結構書かれていたと思う。 ・アンケートの問9にある自由記述の中身を見ていく必要があると思われる。 <p style="text-align: center;">(3) 人口動向分析及び将来人口の推計、次期加西市地域創生戦略の基本方向(骨子素案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生率の向上はなかなか難しいところだが、チャレンジしていくことだと思う。 ・決め手になる方法はないが、ただ出生率1.2→から国県レベルの1.4の0.2程の上昇は事例から見て可能性はある。 ・若い女性が結婚をきっかけに市を出ていかれる場合が多く転出入マイナス要因なので、もっと入ってきてもらえるよう、まちの魅力づくりが大切だと考えている。 ・若年層の流出は加西市の場合、避けられない面があると思われる。企業の立場で見るとベッドタウンとなることは難しい場所と考えられ、働くとなると神戸などになる。 ・市内には魅力的な企業が多く、近隣市町にない企業が揃っているように感じている。 ・企業をバックアップして、若い人が働きたいと思うようにしないとイケない。 ・広島や岡山等にある都市の支店と異なり、加西では車通勤で暮らしが一体化している生活のよさがあり、アンケートをみても加西に勤めている人の満足度は高い。 ・国がやることは別に、加西市独自の取り組みに期待したい。 ・魅力ある製造業に高めていくということである。 ・昼夜間人口比率が1.05と右肩上がりなのは、市内に優良企業が多いからである。企業はリスク低減のため内陸部指向にあり、災害が少ない強みが生かせると思う。 ・産業関係で人を増やしていくことは可能であり、労働人口を増やす余地は十分ある。 ・子育て支援と組み合わせ、考えていくことにしたい。 ・本日の会議で言い足りなかつたことがあれば、事務局までお知らせいただくようお願いする。
委員	
委員	
事務局	
会長	
委員	
会長	
委員	
事務局	
会長	
事務局	
委員	
事務局	
会長	
会長	
事務局	